

循環器内科外来のご案内

身体に優しい治療 TAVI が始まりました

川崎幸病院循環器内科医師/主任部長
心臓病センター副センター長

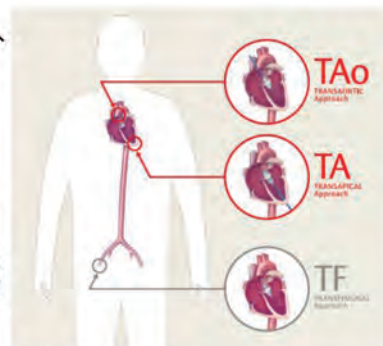
桃原 哲也 (とうばる てつや) 先生



TAVIとは

TAVIとは、日本語で“経カテーテル大動脈弁植え込み術”といい、Transcatheter Aortic Valve Implantationの頭文字をとった名称です。大動脈弁狭窄症に対して、カテーテルを用いて胸を開かず行う“カテーテル治療”です。

2002年に世界初のTAVIがフランスで行われました。ヨーロッパでは、2008年にCEマークを得られ瞬く間に世界中に広がりました。本邦では、2010年4月から臨床試験が行われ、2013年10月から保険で行えるようになりました。現時点で約1万8千名の方がTAVIを受けられており、その平均年齢はおおよそ85歳です。治療成績も非常によく、国内で約160施設が行っています。



画像提供：
エドワーズライフサイエンス株式会社

対象疾患と治療について

対象疾患は、重症の大動脈弁狭窄症です。大動脈弁狭窄症は、大動脈弁が動脈硬化などで硬くなり、十分に開かなくなった状態です。動いた際の息切れや胸痛、失神が主な症状です。大動脈弁狭窄症は、症状が出現すると入院で治療が必要となり、ひいては予後不良（亡くなる危険が高い）であることが分かっています。しかし、高齢者ということで治療を受けずに経過する方が多数いることも知られています。そこで、胸を開かずに身体に優しい“低侵襲”で行うTAVIが脚光を浴びています。

TAVIの約95%は、足の付け根にある動脈から行います。その他、左側の鎖骨の下にある動脈などを使用して行うやり方もあります。入院は5-7日程度です。

メリットとデメリット

メリットは、何といたっても胸を開かずに行えることです。“低侵襲治療”と言って、身体に優しい治療と言えます。また痛みも少なく入院期間も短くて済みます。痛みがないので、退院後も日常生活にスムーズに戻ることができます。

デメリットは、2002年に始まったので歴史が浅く使用する弁の耐久性が不明な点です。しかし、7年間で90%程度問題なく使用できていて、外科的な弁置換術の弁と同等であることが分かっています。

診療のご案内



社会医療法人財団 石心会

第二川崎幸クリニック

川崎市幸区都町39-1

受診予約 ☎ : 044-511-2112 川崎幸病院心臓病センター TAVIページ

電話予約受付時間

月～金8:00～20:00 土 曜8:00～17:00 日 曜8:30～17:00 祝 日8:30～17:00



川崎幸クリニック「循環器内科」外来が本年4月1日より、第二川崎幸クリニックへ移設しました。